

【CL名】 菊池 成美さん 【解答者】 マルチャン 【作成日】 2024年2月3日 【作成時間】 55分

設問

[問い1] 今ならどのような質問ができるか。

今されているお客様のお問い合わせ対応のお仕事について、もう少し教えていただけますか？

今のお仕事について、何とかこなせている。何とかこなせているというのは？

ご主人が育休取得できないと、おひとりで育児をしなければいけない状況なのでしょうか？

ご主人と話すお時間が作れたら、菊池さん自身は、どんなことを伝えたいですか？

将来、菊池さんがこのまま仕事を続けるかどうかを話したいというのは、どうしてなのでしょう？

菊池さんは、今後の生活やお仕事について、どうしていきたいとお考え何でしょうか？

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

事例ⅠのCCt8 (相応しい・相応しくない)

理由： 初めての妊娠出産に対して抱く不安なお気持ちや、ご主人と話さなくてはいけなのに話せていない葛藤など、CLの不安に寄り添ってお話を聞くことができた点。

事例ⅡのCCt9 (相応しい・相応しくない)

理由： CLのお話の途中で次の質問を考えてしまう場面が多くあったため、言語的追跡が十分できておらず、結果としてCLのお話を十分傾聴できていなかった点。

[問い3] クライアントの主訴

CLは、新規事業部門でご主人とともに働いている。今回、妊娠が分かったが、新規事業3年目の忙しい時期に、夫と二人で育児休暇取得ができるかどうか不安に思っている。そこから話を聞いていくと、ご主人と育休取得や将来の話ができていないことが分かった。また、CLは今のお仕事に対して、やりがいなく、一生続けることに疑問を感じていた。そこから、ご主人とのコミュニケーション不足と、中長期的視点でライフキャリアビジョンが描けていないことが、現時点での主訴と考えられる。

[問い4] 今後の展開 (どのように進めるか)

この後は、初めての出産育児で不安な中、ご主人が育休取得できなかった場合も想定して、一人で色々お調べになったことや、そんな中でもお仕事を頑張ってこられたことを労い、傾聴する。そこから、ご主人との話し合いに対する緊急度・重要度を改めて認識していただき、時間を作ってほしいと伝える時期と伝え方を具体的に決める。また、CLがご主人に何を伝えたいのか、何を聞きたいのかを言語化していく中で、CL自身が抱く中長期的なライフキャリアビジョンを明確にしていく。以上を通して、CLが今後のライフキャリアプランを、ご主人とともに描いていけるように支援する。